

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第26週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (26週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：レジオネラ症 1 例。5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例、水痘 (入院例) 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	女	無症状病原体保有者	—
			70歳代	男	肺結核	咳、痰
			80歳代	男	肺結核	—
		日向	30歳代	女	肺結核	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	10歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、O157(VT1VT2)
4類	レジオネラ症	宮崎市	50歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎
5類	後天性免疫不全症候群	都城	40歳代	男	AIDS	呼吸苦、発熱 指標疾患 ・ニューモシスティス肺炎 ・サイトメガロウイルス感染症
	水痘(入院例)	宮崎市	0~4歳	男	臨床診断例	発熱、発疹、熱性痙攣

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は349人(定点当たり9.7)で、前週比113%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

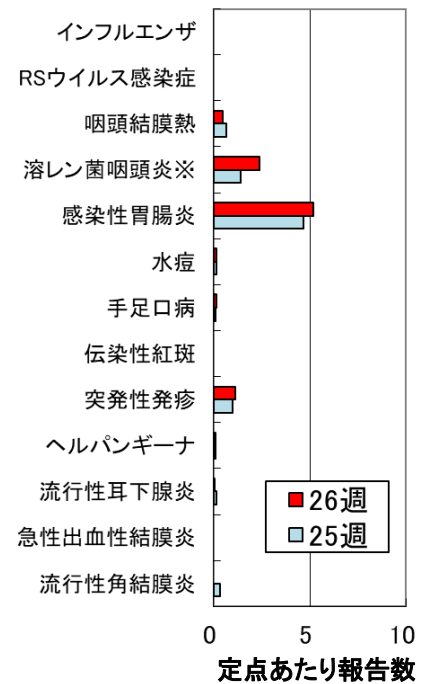
報告数は86人(2.4)で、前週比172%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.7)の約0.9倍であった。宮崎市(4.8)、日南(4.7)、延岡(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は3~5歳が全体の約3割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は187人(5.2)で、前週比111%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(7.6)の約0.7倍であった。都城(8.8)、日南(8.7)、日向(8.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月~3歳が全体の約6割を占めた。

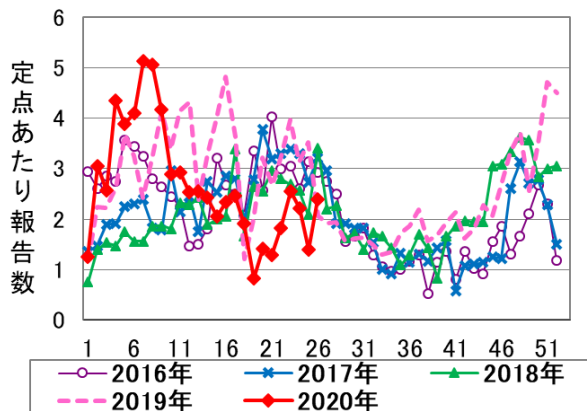
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

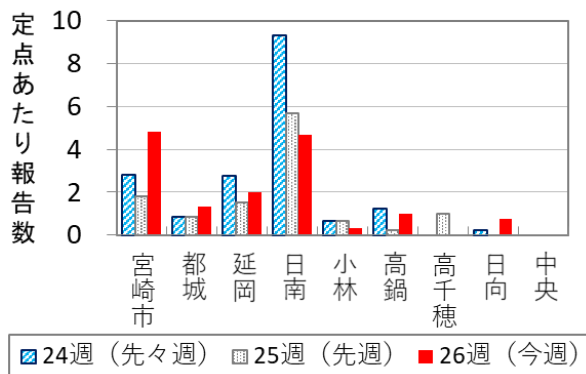


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

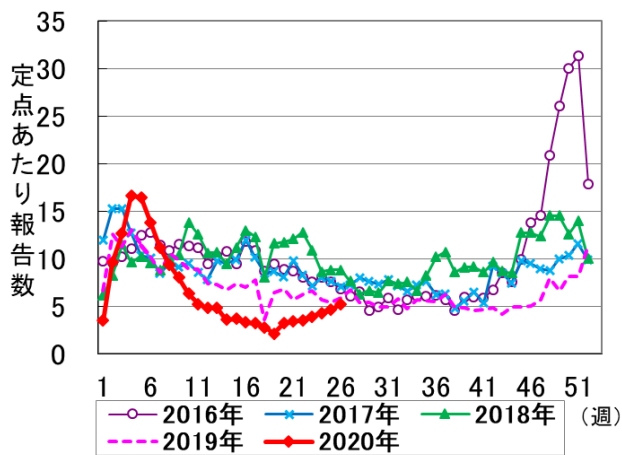
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



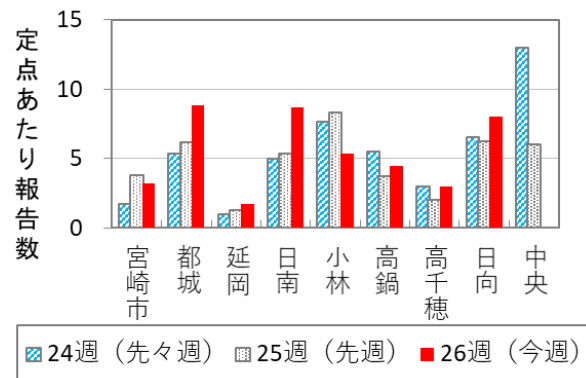
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ 報告なし。

🇯🇵 全国 2020 年第 25 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 25 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	304 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	94 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	3 例	A型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	3 例
	ボツリヌス症	1 例	レジオネラ症	24 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	24 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例
	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	11 例
	水痘（入院例）	3 例	梅毒	98 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	15 例
	風しん	1 例				

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS））へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 103% とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、ヘルパンギーナと咽頭結膜熱、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,260 人(0.7)で前週比 99% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (2.9) の約 0.3 倍であった。福岡県(2.4)、鳥取県(2.3)、長崎県(2.0)からの報告が多く、年齢群別では 3～5 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 5,813 人(1.8)で前週比 108% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (5.9) の約 0.3 倍であった。宮崎県(4.7)、大分県(3.9)、香川県(3.8)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳以下が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第26週(06月22日～06月28日)

疾病名	第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数 定点当り	23 0.64	17 0.47	8 0.80	4 0.67	2 0.50	1 0.33	0.00	1 1.00	1 0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数 定点当り	50 1.39	86 2.39	48 4.80	8 1.33	8 2.00	14 4.67	1 0.33	4 1.00	3 0.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数 定点当り	169 4.69	187 5.19	32 3.20	53 8.83	7 1.75	26 8.67	16 5.33	18 4.50	3 3.00	32 8.00
水痘	報告数 定点当り	5 0.14	6 0.17	2 0.20	3 0.50	0.00	0.00	0.00	1 0.25	0.00	0.00
手足口病	報告数 定点当り	4 0.11	6 0.17	3 0.30	0.00	1 0.25	1 0.33	0.00	1 0.25	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数 定点当り	36 1.00	41 1.14	14 1.40	8 1.33	5 1.25	4 1.33	4 1.00	4 0.00	1 0.25	1 1.00
ヘルパンギーナ	報告数 定点当り	4 0.11	4 0.11	0.00	0.00	3 0.75	1 0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数 定点当り	5 0.14	2 0.06	0.00	1 0.17	1 0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数 定点当り	2 0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～26週)

2類感染症	結核	88例(5)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	9例
	梅毒	6例	播種性クリプトコックス症	1例
指定感染症	百日咳	37例	重症熱性血小板減少症候群	3例
	新型コロナウイルス感染症	17例	レジオネラ症	6例(1)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			後天性免疫不全症候群	2例(1)
			水痘(入院例)	6例(1)
			破傷風	2例

()内は今週届出分、再掲